

読書のまち・かわさき通信NO.59



読書のまちかわさき

読書のまち・かわさき事業推進委員会 会長
川崎市教育委員会 学校教育部 指導課長

2013. 1. 11発行

へいわってどんなこと？



童心社

「読書のまち・かわさき」を推進する川崎市では、毎年10月末から11月はじめの2週間を「かわさき読書週間」と位置づけています。昨年もみなさんに読書の楽しさ・素晴らしさを知ってもらうために、市内の図書館や市民館ではたくさんのイベントを行いました。

11月4日（日）には、「第10回かわさき読書の日のつどい」を中原市民館多目的ホールで開催しました。会場では、市内の児童生徒から寄せられた読書活動に関する「標語」「ポスター」「おすすめ

の本の紹介文」などの優秀作品の表彰とを展示が行われるとともに、長年にわたり図書館・学校・地域で子どもの読書を推進する活動に取り組んできた5つの優秀団体を表彰しました。また、講演会では絵本作家の浜田桂子先生をお迎えして、『命のまぶしさを伝える～私の絵本づくり～』というテーマでお話いただきました。浜田先生の絵本『へいわってどんなこと？』について小学生と意見交流する場面では、児童から、「一番好きなページはみんなであそんでいるところです。」という感想や「先生が『へいわ』を感じる時はどんなときですか？」「どうしてこの本にはきいろが多く使われているのですか？」などの質問が飛び出し、和やかであたたかな雰囲気の中、浜田先生と児童たち、そして会場の皆さんで『へいわ』について考えることができました。

みなさんにとって『へいわ』ってどんなことですか？



☆来場者の感想から☆

- ・よい絵本って人から人へ伝えられるものだと思います。一人一人が大切にされる世界「へいわってどんなこと？」。まず、身近なところから平和を築いていくことだと改めて感じさせられるつどいでした。
- ・浜田先生のあたたかい心のこもったお話が素敵でした。小学生3人の率直な受け答えがとても良かったです。
- ・市内の小・中学生、高校生の優秀作品の完成度の高さに驚きました。みなさん素晴らしかったです。
- ・読書に魅力を感じることができたひとときでした。

「第2回 全市図書ボランティア研修会」

平成25年1月24日(木) 9:50~11:20

講演「命について考える」

児童文学作家 今西 乃子先生

会場：高津市民館 (JR：武蔵溝ノ口駅・東急田園都市線：溝の口駅下車徒歩3分)

今回の研修会では、児童文学作家の今西乃子先生をお迎えして、ご自身の著書を題材とした「命について考える」という市内の小・中学校でも行われている出前授業の内容についてご講演いただきます。子どもたちが「命の大切さ」についてどのように考え、その重さをどのように受け止めることができるかなど、実際におこなった授業を通して感じたことなどをお話しいただきます。今西先生の著書は「心のおくりびと 東日本大震災復元納棺師」、「ドッグ・シェルター 犬と少年たちの再出航」など、他にも多数あります。学校図書館ボランティアの方はもちろん、ボランティアに関心のある方、読書に関心・興味のある方、皆様お誘いあわせの上、ぜひご来場ください。参加費は無料です。



岩崎書店

人形劇団ひとみ座&川崎フロンターレ

人形劇とサッカー選手のコラボレーション!!

西御幸小(幸区)・住吉小(中原区)・白幡台小(宮前区)・

他、市立図書館で実施されました。

人形劇とサッカー選手のコラボレーション!! フロントくんとワルンタくんが図書館へ行くお話。ワルンタくんが図書館のきまりを守らないでいると・・・図書館の守り神『闘将カーン』の登場! 図書館の正しい使い方をクイズで出題することに! いざ対決『闘将カーン』。するとそこに、川崎フロンターレの選手が登場し、みんなと協力してクイズに答えます。そしてそのお礼に選手のお気に入りの絵本を読み聞かせてくれます。



今回は低学年の児童を対象として、学校や市立図書館など市内7ヶ所で実施されました。川崎市を代表とする人形劇団ひとみ座とサッカーチーム・川崎フロンターレの夢の協力による読書推進活動です。